

科目ナンバリング		G-SCI11 90581 PJ55			
授業科目名 <英訳>	数学・数理科学におけるセミナー運営実習 Seminar Management in Mathematics and Mathematical Sciences	担当者所属・ 職名・氏名	理学研究科 教授 石本 健太		
配当学年	修士	単位数	2	開講年度・開講期	2026・通年集中
曜時限	集中講義	授業形態	実習（対面授業科目）	使用言語	日本語
[授業の概要・目的]					
<p>数学を基盤とする分野が大きな広がりを見せている現代では、基盤となる数学を理解しているだけでなく、それを他者にわかりやすく伝えて共有できる人材が広く求められている。本科目は、学生が主催者となって主に学部1、2回生向けに数学のセミナーを企画・運営することでこうした技能を身に付け、大学院課程修了後のキャリア形成に活かすことを目的とする。本科目を履修することで、学生は以下を享受できるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナリティのある教育経験としてアピールでき、大学院課程修了後のキャリア形成に活かすことができる。 ・数学の基礎知識の復習になるとともに、より深い理解を得る機会となる。 ・セミナーを企画・運営するスキルを身に付けることができる。 					
[到達目標]					
<p>(1) 大学数学の基礎事項をセミナーを通じて初学者にわかりやすく伝えられるようになる。 (2) セミナーを企画・運営するスキルを身につける。</p>					
[授業計画と内容]					
<p>本科目では学生が主催者となって主に学部1、2回生向けに微分積分学、線形代数学、集合と位相など大学数学の基礎科目を中心とした入門的な輪読セミナーを実施する。参加学部生の状況によっては、よりアドバンストな内容を扱うこともある。前期をセミナー実施のための準備期間ならびにセミナーを受講する学部生の募集期間とし、9月以降に1回あたり2コマ程度の時間のセミナーを合計6回程度実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 授業担当教員によるオリエンテーション（4月中旬）。 (2) セミナーに参加する学部生をKULASIS等を通じて全学的に募集（4月～6月上旬）。 (3) セミナーに参加する学部生の決定およびセミナーグループ分け（6月）。 (4) 参加者全体でのオリエンテーション（7月）。 (5) セミナーの実施（9月以降、1回あたり2コマ程度の時間で合計6回程度実施し、各回ごとに実施状況報告書（所定の様式）を提出。） (6) セミナー運営に関する意見交換会（1月） <p>本科目は大学院横断教育コースである「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース（通称：数学・数理科学コース）」を構成する科目であり、本科目の詳細はコースwebサイトにも掲載する：https://www.math.kyoto-u.ac.jp/ja/ktgu/training</p>					
[履修要件]					
<ul style="list-style-type: none"> (1) 数学の基礎知識を習得していること。また、数学・数理科学分野のセミナー運営に関心があり、責任をもって取り組むことができること。 (2) 大学院横断教育コースの「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース（通称：数学 					
----- 数学・数理科学におけるセミナー運営実習(2)へ続く					

数学・数理科学におけるセミナー運営実習(2)

- ・数理科学コース)」に登録すること。
(3) セミナーの質保証として、教育経験に関する以下のいずれかの条件を満たしていることが望ましい。
- (a) 数学・数理科学を基盤とする分野の全学共通科目もしくは学部科目のTAを担当したことがある、もしくは担当中である。
 - (b) 大学院教育支援機構教育コースの「教育能力向上コース」の2科目のうち少なくとも1科目を履修済み、もしくは履修中である。

履修者人数は20名程度を上限とする。

[成績評価の方法・観点]

- ・オリエンテーションならびに報告・意見交換会への参加状況(30%)、セミナーの実施状況(70%)により、総合的に評価する。
- ・各回のセミナー終了後に、各グループ毎にセミナー実施状況報告書(所定の様式)を提出する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)
特に無し。

(関連URL)

<https://www.math.kyoto-u.ac.jp/ja/ktgu/training>(数学・数理科学イノベーション人材育成強化コースのwebサイト)

[授業外学修(予習・復習)等]

セミナーで学部生に適宜アドバイスできるように、セミナーで扱う図書の内容を各自で学習すること。

(その他(オフィスアワー等))

本科目の受講にあたっては、大学院横断教育コースの「数学・数理科学イノベーション人材育成強化コース(通称:数学・数理科学グローバルコース)」のコース登録も必要となります。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。